

A区分・C区分共通  
No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和6年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	音楽	種目	オーケストラ等
----	----	----	---------

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分
------	-----

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	無	申請総企画数	
---------	---	--------	--

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	
--------------------	--

芸術文化団体の概要

ふりがな	いだんほうじんしんにほんふいるはーもにーこうきょう			団体ウェブサイトURL
制作団体名	公益財団法人新日本フィルハーモニー交響楽団			https://www.njp.or.jp/
代表者職・氏名	理事長 宮内義彦			
制作団体所在地	〒	130-0013	最寄り駅(バス停)	JR・半蔵門線「錦糸町駅」
	東京都墨田区錦糸1-2-3すみだトリフォニーホール7階			
電話番号	03-5610-3820			
ふりがな	いだんほうじんしんにほんふいるはーもにーこうきょう			団体ウェブサイトURL
公演団体名	新日本フィルハーモニー交響楽団			https://www.njp.or.jp/
代表者職・氏名	専務理事 林豊			
公演団体所在地	〒	130-0013	最寄り駅(バス停)	JR・半蔵門線「錦糸町駅」
	東京都墨田区錦糸1-2-3すみだトリフォニーホール7階			
制作団体 設立年月	1972年9月			
制作団体組織	役職員			団体構成員及び加入条件等
	理事長／宮内義彦 副理事長／日枝久 専務理事／林豊 理事／門脇 賀智志、川寄 靖之、國部 毅、小路 明善、澤上 篤人、澁谷 哲一、庄子 幹雄、鈴木 茂晴、高木 俊明、竹中 平蔵、増田 宗昭			(1)団体構成員 音楽監督:佐渡裕 Music Partner:久石譲 桂冠名誉指揮者:小澤征爾 楽員92名、事務局員29名 (2)加入条件:楽員の採用は当団規定の要綱に従ったオーディションによる。事務局員の採用は当団規定の面接による。年齢・国籍などの条件なし。

事務体制 事務(制作)専任担当の有無	他の業務と兼任の担当者を置く	本事業担当者名	松葉陽子
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者名	石川潔
本申請にかかる連絡先 (メールアドレス)	matsuba@njp.or.jp		

<p>制作団体沿革</p>	<p>1972年、小澤征爾、山本直純の「一緒に音楽をやろう！」という掛け声の下、自主運営のオーケストラとして創立。1997年、墨田区に移転。すみだトリフォニーホールを本拠地とし、日常の練習と公演を行うという日本初の本格的フランチャイズを導入。定期演奏会や特別演奏会の他、墨田区の学校の音楽授業、鑑賞教室、福祉施設等での演奏活動等、地域に根ざした演奏活動も精力的に行っている。</p> <p>1999年、小澤征爾が桂冠名誉指揮者に就任、歴代の指揮者には、初代音楽監督・小泉和裕(1975年～1979年)、第2代音楽監督・井上道義(1983年～1988年)、第3代音楽監督・クリスティアン・アルミンク(2003年～2013年)、第4代音楽監督・上岡敏之(2016年～2021年)。その他、ダニエル・ハーディングがMusic Partner of NJP(2010年～2016年)、インゴ・メッツマッハーがConductor in Residence(2013年～2015年)を務めた。新日本フィル・ワールド・ドリーム・オーケストラの音楽監督に久石譲(2004年～)、また新日本フィルのMusic Partner(2020年～)も務めている。久石とのコラボレーションとして、映画『千と千尋の神隠し』、『ハウルの動く城』、『崖の上のポニョ』の管弦楽を担当。</p> <p>受賞歴に2006年第3回三菱信託音楽賞奨励賞(アルミンク指揮『火刑台上のジャンヌ・ダルク』)、2009年第18回三菱UFJ信託音楽賞(アルミンク指揮『ベートーヴェン・プロジェクト』)、同年第22回ミュージック・ペンクラブ音楽賞(ブリュッヘン指揮『ハイドン・プロジェクト』)等。</p> <p>2023年4月より佐渡裕が第5代音楽監督に就任。街・ホール・オーケストラが一体となった音楽活動を行う。</p>																																																																					
<p>学校等における公演実績</p>	<p>・墨田区内の小中学校へ出向くコミュニティコンサート</p> <table border="1" data-bbox="448 905 1489 1423"> <tr><td>1989/7/5</td><td>立花小学校、錦糸中学校</td><td>2007/10/14</td><td>隅田小学校、押上小学校</td></tr> <tr><td>1990/9/2</td><td>第三吾嬬小学校、堅川小学校</td><td>2008/10/26</td><td>鐘淵中学校、立花中学校</td></tr> <tr><td>1991/9/15</td><td>向島中学校、両国小学校</td><td>2009/11/26</td><td>第一寺島小学校、立花吾嬬の森小学校</td></tr> <tr><td>1992/10/10</td><td>外手小学校、吾嬬第三中学校</td><td>2010/10/11</td><td>第三吾嬬小学校、梅若小学校</td></tr> <tr><td>1993/7/11</td><td>吾嬬第二中学校、緑小学校</td><td>2011/10/30</td><td>緑小学校、言問小学校</td></tr> <tr><td>1994/11/13</td><td>隅田第二小学校</td><td>2013/9/29</td><td>桜堤中学校、吾嬬第一中学校</td></tr> <tr><td>1995/10/15</td><td>第二吾嬬小学校、錦糸小学校</td><td>2014/9/21</td><td>中和小学校、隅田小学校</td></tr> <tr><td>1996/11/3</td><td>柳島小学校、隅田第二小学校</td><td>2015/10/12</td><td>第三吾嬬小学校、両国小学校</td></tr> <tr><td>1997/7/13</td><td>菊川小学校</td><td>2016/10/16</td><td>東吾嬬小学校、梅若小学校</td></tr> <tr><td>1998/6/14</td><td>両国小学校、隅田中学校</td><td>2017/10/7</td><td>本所中学校、吾嬬第二中学校</td></tr> <tr><td>1999/10/31</td><td>第三寺島小学校、中和小学校</td><td>2018/10/21</td><td>桜堤中学校、第三寺島小学校</td></tr> <tr><td>2000/9/24</td><td>両国小学校、小梅小学校</td><td>2019/10/20</td><td>中和小学校</td></tr> <tr><td>2001/10/28</td><td>第二寺島小学校、柳島小学校</td><td>2020/10/11</td><td>寺島中学校</td></tr> <tr><td>2003/10/26</td><td>二葉小画工、第三寺島小学校</td><td>2021/9/13</td><td>緑小学校</td></tr> <tr><td>2004/11/6</td><td>横川小学校、八広小学校</td><td>2022/11/24</td><td>言問小学校、錦糸中学校</td></tr> <tr><td>2005/10/23</td><td>寺島中学校、堅川中学校</td><td>2022/11/25</td><td>横川小学校、業平小学校</td></tr> <tr><td>2006/11/5</td><td>東吾嬬小学校、言問小学校</td><td>2023/9/20</td><td>錦糸小学校、第三寺島小学校、桜堤中学校、菊川小学校</td></tr> </table> <p>・その他毎年区立の全小中学校で行っている室内楽アウトリーチ授業(小学校25回、中学校11回)</p> <p>・地域拠点契約を結んでいる可見市や三重県で行っているアウトリーチ</p>		1989/7/5	立花小学校、錦糸中学校	2007/10/14	隅田小学校、押上小学校	1990/9/2	第三吾嬬小学校、堅川小学校	2008/10/26	鐘淵中学校、立花中学校	1991/9/15	向島中学校、両国小学校	2009/11/26	第一寺島小学校、立花吾嬬の森小学校	1992/10/10	外手小学校、吾嬬第三中学校	2010/10/11	第三吾嬬小学校、梅若小学校	1993/7/11	吾嬬第二中学校、緑小学校	2011/10/30	緑小学校、言問小学校	1994/11/13	隅田第二小学校	2013/9/29	桜堤中学校、吾嬬第一中学校	1995/10/15	第二吾嬬小学校、錦糸小学校	2014/9/21	中和小学校、隅田小学校	1996/11/3	柳島小学校、隅田第二小学校	2015/10/12	第三吾嬬小学校、両国小学校	1997/7/13	菊川小学校	2016/10/16	東吾嬬小学校、梅若小学校	1998/6/14	両国小学校、隅田中学校	2017/10/7	本所中学校、吾嬬第二中学校	1999/10/31	第三寺島小学校、中和小学校	2018/10/21	桜堤中学校、第三寺島小学校	2000/9/24	両国小学校、小梅小学校	2019/10/20	中和小学校	2001/10/28	第二寺島小学校、柳島小学校	2020/10/11	寺島中学校	2003/10/26	二葉小画工、第三寺島小学校	2021/9/13	緑小学校	2004/11/6	横川小学校、八広小学校	2022/11/24	言問小学校、錦糸中学校	2005/10/23	寺島中学校、堅川中学校	2022/11/25	横川小学校、業平小学校	2006/11/5	東吾嬬小学校、言問小学校	2023/9/20	錦糸小学校、第三寺島小学校、桜堤中学校、菊川小学校
1989/7/5	立花小学校、錦糸中学校	2007/10/14	隅田小学校、押上小学校																																																																			
1990/9/2	第三吾嬬小学校、堅川小学校	2008/10/26	鐘淵中学校、立花中学校																																																																			
1991/9/15	向島中学校、両国小学校	2009/11/26	第一寺島小学校、立花吾嬬の森小学校																																																																			
1992/10/10	外手小学校、吾嬬第三中学校	2010/10/11	第三吾嬬小学校、梅若小学校																																																																			
1993/7/11	吾嬬第二中学校、緑小学校	2011/10/30	緑小学校、言問小学校																																																																			
1994/11/13	隅田第二小学校	2013/9/29	桜堤中学校、吾嬬第一中学校																																																																			
1995/10/15	第二吾嬬小学校、錦糸小学校	2014/9/21	中和小学校、隅田小学校																																																																			
1996/11/3	柳島小学校、隅田第二小学校	2015/10/12	第三吾嬬小学校、両国小学校																																																																			
1997/7/13	菊川小学校	2016/10/16	東吾嬬小学校、梅若小学校																																																																			
1998/6/14	両国小学校、隅田中学校	2017/10/7	本所中学校、吾嬬第二中学校																																																																			
1999/10/31	第三寺島小学校、中和小学校	2018/10/21	桜堤中学校、第三寺島小学校																																																																			
2000/9/24	両国小学校、小梅小学校	2019/10/20	中和小学校																																																																			
2001/10/28	第二寺島小学校、柳島小学校	2020/10/11	寺島中学校																																																																			
2003/10/26	二葉小画工、第三寺島小学校	2021/9/13	緑小学校																																																																			
2004/11/6	横川小学校、八広小学校	2022/11/24	言問小学校、錦糸中学校																																																																			
2005/10/23	寺島中学校、堅川中学校	2022/11/25	横川小学校、業平小学校																																																																			
2006/11/5	東吾嬬小学校、言問小学校	2023/9/20	錦糸小学校、第三寺島小学校、桜堤中学校、菊川小学校																																																																			
<p>特別支援学校等における公演実績</p>	<p>【オーケストラ事業協同組合 主催事業】</p> <p>2016年3月 東京都立墨田特別支援学校</p> <p>2017年2月 東京都立江東特別支援学校</p> <p>2018年2月 東京都立小平特別支援学校</p> <p>2018年12月 東京都立光明学園</p> <p>2019年11月 東京都立光明学園</p> <p>2021年6月 東京都立城南特別支援学校</p> <p>2022年9月 東京都立水元小合学園</p> <p>2022年11月 東京都立白鷺特別支援学校</p> <p>【文化庁 障害者等による文化芸術活動推進事業】</p> <p>2019年、2020年、2021年、2022年、2023年と各10回以上静岡県伊豆地方と墨田区特別支援学級に向けて実施</p> <p>【墨田区文化振興財団 特別支援学級の生徒に向けた音楽療法アウトリーチ】</p> <p>昨年度から始まった事業で、同じ学校へ連続して4日間伺い、アウトリーチを行うことでどのような変化が児童生徒に現れるかを検証する。</p> <p>2022年隅田小学校、第二寺島小学校</p> <p>2023年隅田小学校、外手小学校、堅川中学校【予定】</p>																																																																					
<p>参考資料の有無</p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>																																																																				
<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p><a href="https://youtu.be/RWvvgxbG6W7w">https://youtu.be/RWvvgxbG6W7w</a></p> <p><a href="https://youtu.be/defVe6ZC9rg">https://youtu.be/defVe6ZC9rg</a></p>																																																																					
<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>ID:</p>	<p></p>																																																																				
<p></p>	<p>PW:</p>	<p></p>																																																																				

## 公演・ワークショップの内容

【公演団体名 新日本フィルハーモニー交響楽団】

対象	小学生(低学年)	○		
	小学生(中学年)	○		
	小学生(高学年)	○		
	中学生	○		
企画名	新日本フィルハーモニー交響楽団 ～オーケストラの魅力発見コンサート～			
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>J.ウィリアムズ:スター・ウォーズより「メイン・タイトル」(6分)  久石譲:オーケストラ・ストーリーズ「となりのトトロ」より、「さんぽ」(7分)  モーツァルト:クラリネット協奏曲より第3楽章(9分)  ベートーヴェン:交響曲第5番ハ短調op.67より、第1楽章(7分)  休憩(10分)  &lt;指揮者コーナー&gt;  ベートーヴェン:交響曲第5番ハ短調op.67より第1楽章(冒頭)(15分)  アンダーソン:フィドル・ファドル、サンドパーバレエ(合わせて8分)  外山雄三:管弦楽のためのラブソディ(7分)  アンコール)  学校校歌(4分)  J.シュトラウス:ラデツキー行進曲(4分)</p>			
		公演時間 90 分		
著作権、上演権利等の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否	該当あり	該当コンテンツ名	演奏曲目
	該当事項がある場合	権利者名 各作曲家	許諾確認状況	採択後手続き予定
演目概要	<p>2022年には生誕90周年を迎えた、J.ウィリアムズ最も代表的な映画音楽の「スターウォーズ・メインタイトル」から始まり、ジブリの代表作「となりのトトロ」より「さんぽ」をお送りします。「さんぽ」ではストーリーを追いながら、オーケストラを構成する楽器紹介をする 作曲者自身が編曲したオーケストラ・ストーリーズをお届けします。</p> <p>次に、新しく入った楽団員の協奏曲の演奏を聴いてもらう機会を届けようと考えています。楽器のソロとして最も華やかな曲目である協奏曲で、プロの演奏家の本領発揮をしてもらい、また新入団員ということで若い演奏家に活躍をってもらう事で、児童生徒へ音楽への興味関心を高める意味も期待しています。その後に、もっとも有名なクラシック音楽といっても過言ではない、ベートーヴェンの「運命」をお届けします。前半では、クラシック音楽の静かな美しい調べから、迫力のある力強い側面もお届けして、幅広い音楽を感じ取ってもらいます。後半では、前半で聴いてもらった「運命」で児童生徒に指揮を体験してもらい、音楽・芸術活動への興味関心を高めます。次にお送りするのは、日常にあるものを音楽に取り入れて、クラシックながらも楽しく身近な曲を作曲しているアンダーソンより「フィドル・ファドル、サンドパーバレエ」を演奏します。そして、日本に古くから伝わる八木節を元になぎやかに展開していく「管弦楽のためのラブソディ」を終曲に、アンコールでは学校校歌をオーケストラverに編曲したものを演奏し、一緒に歌を歌います(演奏後には録音してある校歌のCDをサブライズプレゼントでお渡しします)。最後は、きっと児童生徒のみなさんに馴染みのあるラデツキー行進曲で手拍子で参加してもらい終演とします。</p>			
演目選択理由	<p>初めてクラシックに接する子どもたちにも抵抗のないよう、緩急織り交ぜ、クラシックの古典的な名曲から古くより日本にある民謡を取り入れた日本人作曲家の作品まで幅広く選択した。比較的長時間の鑑賞だが、飽きがこないよう映画音楽やCM等で取り上げられたことのある耳なじみの作品をバランスよく配置し、いろんな楽器が分かりやすく目立つような曲にすることで、各楽器の魅力を児童生徒に感じ取ってもらい、音楽に対して興味関心を高められるよう工夫した。</p>			
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	<p>【指揮者コーナー】  運命冒頭の有名な箇所を4名程度の生徒が交代で指揮体験をする(学校によって、児童生徒のリレー形式 あるいは複数人で同時に指揮台の上で指揮をする)。どうすればオーケストラを思うようにコントロールできるか事前のワークショップでチーム内・クラス内で話し合いの場を設け、協力しながら指揮体験に参加することで、音楽に対する理解を深めてもらう狙いがある。受け身の音楽鑑賞ではなく、自分自身で指揮をする(あるいは級友が指揮を振っているのを見る)ことで、音楽を体感する経験の場を提供出来るのではないかと考える。</p> <p>一昨年実施した曲目は拍子が児童には難しく、苦勞する生徒もいたため、今年度も昨年に引き続き「運命」の冒頭の耳なじみのある部分で実施することにした。冒頭部分は強弱も分かりやすく、生徒の個性も出やすい部分で、同じ箇所を複数生徒に振ってもらうことにより、指揮によって演奏がこんなにも変わるのだということをより実感しやすくなるのではないかと考えている。</p> <p>【学校校歌】  普段はピアノ伴奏でしか歌うことのない校歌を予めオーケストラ伴奏に編曲し、様々な楽器の音色と迫力を感じながらハーモニーの素晴らしさ・オーケストラや音楽の面白さを感じてもらおう。新型コロナウイルスの蔓延状況にもよるが、声が出せるような状況だったならば、オーケストラ伴奏と一緒に歌ってもらうことを考えている。</p>			

<p>出演者</p>	<p>指揮者:1名(未定) 司会:1名(未定) オーケストラ(60名 2管10型) ※演奏曲目未定のため変動の可能性あり</p>		
<p>本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含 む</p>	<p>出演者: 60 名 スタッフ: 10 名 ----- 合 計: 70 名</p>	<p>運搬</p>	<p>積載量: 4 t 車 長: 9 m 台 数: 1 台</p>

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み	無	前日仕込み所要時間			時間程度
	到着	仕込み	上演	内休憩	撤去	退出
	9:00	9:00-11:00	13:00-14:30	10分	14:30-15:30	16時00分
※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。						

本公演 実施可能日数目安  ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)	6月	7月	8月	9月	10月	
				1日	5日	
	11月	12月	1月	計	12日	
	2日	4日				
※平日の実施可能日数目安をご記載ください。						

児童・生徒の 参加可能人数	本公演	共演人数目安	5名程度
		鑑賞人数目安	体育館に入る人数(500名ほど?)

■体育館後方から見た写真



公演に係るビジュアルイメージ  
(舞台の規模や演出がわかる写真)

■演奏時セッティング例 (ステージは利用せず、体育館前方のフロアで演奏します)



※採択決定後、図面等の提出をお願いします。

【公演団体名 新日本フィルハーモニー交響楽団】

児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	50－400名
ワークショップ 実施形態及び内容	<p>初めに室内楽演奏を聴いてもらい、音楽家の本物の音楽を楽しんでもらう。</p> <p>その後、指揮者によるトークを挟みつつ、楽器紹介を行う。楽器紹介では簡単なフレーズあるいは短めの曲を奏者に演奏してもらい、一つ一つの楽器の音色を感じてもらい、ここで奏者への質問なども挟み進行する。(どうして音楽家になったのか、楽器の特徴(材料やいつ頃作られたのか、音色について)や普段のオーケストラでの役割などについて話してもらう)</p> <p>その後、本公演で実際に指揮をするベートーヴェンの交響曲第5番「運命」の室内楽編曲verを実際に児童生徒に指揮してもらい、レクチャーをする。出したい音色に対してどのようにアプローチが必要か、どのような気持ちで指揮をすると伝わるのか、を指揮者と一緒に組み上げていく。</p> <p>最後にもう一度室内楽を聴いてもらう。最後に演奏を置くことで、最初よりも楽器の音色がよくわかる状態になって、興味をもって聴くことが出来るようになっていることを実感させる狙いがある。</p> <p>ワークショップでは本公演では演奏しない曲も演奏する。巡回公演に応募することで、様々な種類の音楽を聴くことが出来、充実した音楽体験になるという経験を感じてもらえるようにしたいと考えている。</p>		
ワークショップのねらい	<p>クラス対抗・チーム対抗などゲーム感覚を取り入れ、競いながらみんなで協力する中で音楽の理解を深めてもらうことを意図している。事前に送付した映像資料から各生徒が指揮には何が必要か・何を意識して指揮をしているのかを考え、ワークショップではその疑問を実際に指揮者にぶつけ、指揮者とのやり取りや実際に指揮体験をする中で音楽がどういうものか・指揮をしてメンバーをまとめるという仕事はどういうものかを感じ取ってもらい、よりよい音楽にするためにはどうしたら良いか、児童生徒自身が自発的にまたそれぞれが意見を出し合い協力しながら答えを見つけていく過程で、自然と音楽への興味が深まるように期待したい。実際に耳なじみのあるクラシックでどのように演奏が変わるのかを体験してもらおう方が、体験している人も聴いている人も違いが分かりやすいのではないかと考え、令和4年度はベートーヴェンの運命を採用した。ワークショップを行った学校での生徒の反応が良く、令和6度もベートーヴェンの「運命」で指揮体験コーナーを実施する予定。</p>		
その他ワークショップに関する特記事項等	<p>■特別支援学級などを対象とする場合</p> <p>普段と変わらずリラックスして聴いて頂くことを優先し、演奏の楽しさを五感で感じられる場を提供する。弊団の特別支援学校での演奏経験を踏まえ、TVや映画などで普段聴き馴染みのある楽曲も多く取り上げ、緩急織り交ぜたプログラムにすることで飽きずに楽しめる工夫をした。古典派のクラシック音楽中心に幅広く楽しみながら鑑賞して頂くことで、芸術の多様な側面を感じてもらおう。</p>		

本事業への申請理由

【公演団体名 新日本フィルハーモニー交響楽団】

<p><b>本事業に対する 取り組み姿勢、および 効果的かつ円滑に実施 するための工夫</b></p>	<p>①本事業に対する取り組み姿勢</p> <p>a)「オーケストラが担うべき本業」という意識・姿勢での取り組み 新日本フィルハーモニー交響楽団は、1997年より墨田区(すみだトリフォニーホール)を拠点とする日本初の「フランチャイズ」を導入したオーケストラであり、他楽団に先行して区と連携した子供に対する音楽普及活動や地域の音楽芸術文化向上に努めてきました。20年以上に亘り、一年間で区内全ての小中学校(小学校25校、中学校11校)を訪問する音楽出張授業を実施し、体育館で開催するコミュニティコンサート、トリフォニーホールへ足を運んでもらう小中学生音楽鑑賞教室等も毎年行っています。このような活動は他自治体からも注目を頂いており、墨田区でのアウトリーチ活動で蓄積した経験のもと、静岡県下田市や岐阜県可児市など、各地で子供に対する音楽普及の輪を広げてきました。こうした長年の活動を通し、「音楽を通した子供の育成事業」が決して「付随業務」ではなく、「オーケストラが担うべき本業である」という意識が楽団全体に根付いています。本事業においても、こうした意識、姿勢のもと活動に取り組んでいく考えです。</p> <p>b)オーケストラを通じて、他者への興味を持たせ、協調性を学ぶ オーケストラは一人では演奏出来ません。約60名もの異なった個性を持った人間が集まり、様々な音色を持つ楽器を演奏することで、一つの音楽を作り上げています。ある楽器(奏者)が演奏しているときには休んでいる楽器(奏者)がいたり、同じタイミングだけれども全く違ったりリズムや音色をぶつけ合ったり、あるいは譲り合ったりすることで、一人の演奏では到底表現しきれない美しく壮大な音楽が出来上がります。どの楽器の音が正解ということではなく、みなそれぞれの個性をもった音色をしており、だからこそオーケストラは面白く、可能性が広がっているのだということが演奏から感じ取れるのではないかと考えております。</p> <p>そしてその個性豊かな音楽家たちの演奏を、指揮者は音を出すことなくまとめ上げます。そのような一つの社会の縮図ともいえるオーケストラから、個人個人の持つ個性の大切さや他者への配慮、協調することの意味を学んでいただきたいと願っています。</p> <p>c)こどもの芸術体験における音楽の最適性 さまざまな文化芸術活動があるなかで、音楽の果たす役割の大きさについてアウトリーチなどを通じて楽団のなかでもよく議論されています。絵画や工作は手先の器用さなど個人の能力に付随してしまふ部分もあり、特に成長の度合いにばらつきのある小学校・中学校の児童生徒の方には体験として充実が難しい場合も多いかと思えます。音楽は鑑賞にまず必要な物が耳だけで、それ以外で児童生徒が用意しなければならない、というものが無いということで、幅広い学年・児童の方に楽しんで頂くことが出来るのではないかと考えています。もちろん耳に障害を抱えている児童生徒の方にも楽しんで頂ける工夫も必要で、弊楽団は音を振動と色で伝えるサウンドハグといった機械を導入したオーケストラ公演もホールでは行っております。体育館ではまだ難しいかもしれませんが、多くの方へ分け隔てなく伝えられるオーケストラとしての活動をもっと広げていければと考えております。</p> <p>②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫</p> <p>a)実施経験豊富なプログラムによる事業実施 当楽団が長年墨田区やその他地域で取り組んできた曲を多く取り入れました。生徒に分かりやすいプログラムでありながら、定番クラシックや日本の作曲家の演奏、いわゆる「本物」の音楽をお聴きかせすることや、緩急を織り交ぜ、軽快なトークでフォローすることで生徒たちの興味をそらさない工夫をしています。また指揮者の方にもトークをしていただくことで、本物の音楽家の考えていることの一部が伝わればと考えております。</p> <p>b)経験者による学校様との十分なコミュニケーション 子供に対する音楽普及活動の経験が豊富な楽団員、事務局員を巡回公演担当として配置します。窓口を明確にすると共に、公演実施まで随時相談頂くことが可能な体制と致します。事前打合せ時には、公演実施にあたり必要となる情報を事前に学校側に明示し、効率的に打合せを進めます。きめ細かなコミュニケーションを通じて学校側の不安を極力取り除くことも事前打合せの重要な役割と認識しています。</p> <p>c)ワークショップの効果的な活用 事前に映像資料を送付し児童生徒たちが自分の参加する曲について予習できる期間を設け、指揮について・音楽について考える時間を子供たちに提供します。実際のワークショップでは本公演に向けて理解と興味が深まるような指導と、指揮者・演奏者と直接触れ合い意見を交わすことでより期待を高め、本公演に臨めるような工夫をいたします。</p> <p>d)本番公演スタッフ体制の充実 本公演においては会場設営までの時間が限られ、当日の天候等により臨機応変な対応も必要になります。このため、先入りの舞台配置スタッフと、楽団員随行のスタッフと持ち場を分担し、公演の成功に向けて万全の体制で臨みます。</p>
---	---